

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)

【公開番号】特開 2001-243724 (P2001-243724A)
 【公開日】平成 13 年 9 月 7 日 (2001.9.7)
 【出願番号】特願 2000-54249 (P2000-54249)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 20/12 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

G 1 1 B 27/00 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 20/12

G 0 6 F 12/00 5 0 1 H

G 0 6 F 12/00 5 2 0 J

G 1 1 B 27/00 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 1 月 10 日 (2007.1.10)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 階層的なファイルシステムに基づきデータをディスク状記録媒体に記録する記録方法において、

ファイルシステムの階層構造を管理する管理情報をディスク状記録媒体の特定領域に記録するようにしたと共に、上記特定領域中の未使用領域を特別なファイルとして扱うようにしたことを特徴とする記録方法。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の記録方法において、

上記特定領域に上記管理情報を追加するときに、追加される上記管理情報に応じて上記特別なファイルのサイズを小さくし、上記特別なファイルが上記小さくされることで上記特定領域が空いた部分に上記追加される管理情報を記録するようにしたことを特徴とする記録方法。

【請求項 3】 請求項 1 に記載の記録方法において、

上記特別なファイルを示す情報は、上記特定領域内の固定的な位置に配置されることを特徴とする記録方法。

【請求項 4】 請求項 3 に記載の記録方法において、

上記位置は、上記階層構造のルートディレクトリを示す情報が配置される位置よりも前であることを特徴とする記録方法。

【請求項 5】 請求項 3 に記載の記録方法において、

上記位置は、上記階層構造のルートディレクトリを示す情報が配置される位置よりも後であることを特徴とする記録方法。

【請求項 6】 請求項 3 に記載の記録方法において、

上記位置は、上記管理情報により示されるファイルの実体が配置される領域と、上記特定領域との境界であることを特徴とする記録方法。

【請求項 7】 請求項 1 に記載の記録方法において、

上記特定領域に新たに上記管理情報を追加する領域が無くなったとき、上記特別なファイルを示す情報を書き換えることで上記特別なファイルの領域を拡大するようにしたこと

を特徴とする記録方法。

【請求項 8】 請求項 1 に記載の記録方法において、

上記特別なファイルに対して隠しファイル属性と、システムファイル属性と、読み出し専用ファイル属性とを設定するようにしたことを特徴とする記録方法。

【請求項 9】 階層的なファイルシステムに基づきデータをディスク状記録媒体に記録する記録装置において、

ファイルシステムの階層構造を管理する管理情報をディスク状記録媒体の特定領域に記録する記録手段と、

上記特定領域中の未使用領域を特別なファイルとして扱う管理手段とを備えることを特徴とする記録装置。

【請求項 10】 階層的なファイルシステムに基づきデータが記録されたディスク状の記録媒体において、

ファイルシステムの階層構造を管理する管理情報が特定領域に記録されると共に、上記特定領域中の未使用領域が特別なファイルとして扱われるようにされたことを特徴とする記録媒体。

【請求項 11】 請求項 10 に記載の記録媒体において、

上記特定領域に上記管理情報を追加するときに、追加される上記管理情報に応じて上記特別なファイルのサイズを小さくし、上記特別なファイルが上記小さくされることで上記特定領域が空いた部分に上記追加される管理情報が記録されることを特徴とする記録媒体。

【請求項 12】 請求項 10 に記載の記録媒体において、

上記特別なファイルを示す情報は、上記特定領域内の固定的な位置に配置されることを特徴とする記録媒体。

【請求項 13】 請求項 12 に記載の記録媒体において、

上記位置は、上記階層構造のルートディレクトリを示す情報が配置される位置よりも前であることを特徴とする記録媒体。

【請求項 14】 請求項 12 に記載の記録媒体において、

上記位置は、上記階層構造のルートディレクトリを示す情報が配置される位置よりも後であることを特徴とする記録媒体。

【請求項 15】 請求項 12 に記載の記録媒体において、

上記位置は、上記管理情報により示されるファイルの実体が配置される領域と、上記特定領域との境界であることを特徴とする記録媒体。

【請求項 16】 請求項 10 に記載の記録媒体において、

上記特定領域に新たに上記管理情報を追加する領域が無くなったとき、上記特別なファイルを示す情報が書き換えられることで上記特別なファイルの領域が拡大されるようにしたことを特徴とする記録媒体。

【請求項 17】 請求項 10 に記載の記録媒体において、

上記特別なファイルに対して隠しファイル属性と、システムファイル属性と、読み出し専用ファイル属性とが設定されたことを特徴とする記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、この発明は、階層的なファイルシステムに基づきデータをディスク状記録媒体に記録する記録装置において、ファイルシステムの階層構造を管理する管理情報をディスク状記録媒体の特定領域に記録する記録手段と、特定領域中の未使用領域を特別なファイルとして扱う管理手段とを備えることを特徴とする記録装置である。